

令和6年1月11日

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」の受賞団体を発表します ～スポーツ文化ツーリズムの普及、拡大に向けて～

スポーツ庁、文化庁及び観光庁は、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図るための政策連携の取組として「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。

スポーツ文化ツーリズムの優れた取組を評価し普及を図るべく、昨年引き続き「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」の公募を実施し、29件の応募の中から、計7件の受賞団体を決定しました。（同時発表：観光庁）

併せて、受賞団体は「第7回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」（令和6年2月2日に東京都千代田区で開催）において表彰します。

【スポーツ文化ツーリズムアワード2023 受賞団体】※詳細は別添参照

[本賞]

〈スポーツ文化ツーリズム賞 1件〉

○愛媛県今治市

『日本最強の城「今治城」を中心にしたスポーツ文化ツーリズム
～瀬戸内の中央を制した歴史が現代に繋がる～』

〈スポーツツーリズム賞 1件〉

○越後まつだいトレイルランニング実行委員会

『里山に点在する古道を蘇らせ新たな地域資源として発信！
「越後まつだい春の陣トレイルランレース」』

〈文化ツーリズム賞 1件〉

○一般社団法人 安中市観光機構

『「碓氷峠 廃線ウォーク」～行き止まりのレールの先を、次の世代に～』

[特別賞]

〈武道ツーリズム賞 2件〉

○一般財団法人 奈良市総合財団

『外国人観光客向け本格的弓道体験～古の都奈良で武士の魂にふれてみよう～』

○福島町観光協会

『北海道福島町「女だけの相撲大会」～日本で唯一2人の横綱が誕生した町～』

〈日本遺産ツーリズム賞 1件〉

○一般社団法人 下諏訪町地域開発公社 観光振興局

『国指定史跡・日本遺産～星降る中部高地の縄文世界～「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」の観光資源化』

〈食文化ツーリズム賞 1件〉

○炭鉄港推進協議会事務局

『日本遺産を食で巡る旅「炭鉄港めし」プロジェクト』

【第7回スポーツ文化ツーリズムシンポジウムについて】※詳細は別添参照

- ◆ 日時：令和6年2月2日（金）13時00分～16時50分（開場：12時00分）
- ◆ 場所：神田明神ホール（東京都千代田区外神田2丁目16-2 神田明神文化交流館2F）

＜担当＞

スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付

専門職 岡田 （内線 3931）

地域振興係 西澤 （内線 " ）

stiiki@mext.go.jp

文化庁 参事官（文化拠点担当）付

文化戦略官 溝口 （内線 5051）

総括係長 久野 （内線 4869）

bunkankou@mext.go.jp

電話：03-5253-4111（代表）

スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

愛媛県今治市

日本最強の城「今治城」を中心にしたスポーツ文化ツーリズム ～瀬戸内の中央を制した歴史が現代に繋がる～



取組概要

愛媛県今治市にある「今治城」を中心にして瀬戸内で行われた2022年度の様々なイベントを繋げた取組。
文化イベント 高虎サミットin今治を開催し、スポーツイベントでは、瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ、今治クリテリウム、サイクリングしまなみ2022、今治シティマラソンを開催し、国内外から多くの人を呼び込んだ。
また、食や特産品のイベント セとうちみなとマルシェを開催し、イベント来訪者や観光客の滞在を促した。

評価ポイント

- マルシェの取組では市民ボランティアの活用など地域の巻き込みが上手くできている。
- それぞれのイベントが魅力的であり、今治城や村上水軍、しまなみ海道等の文化・自然資源を活用し、様々な方々に刺さる文化・スポーツイベントを横断的に実施している。
- 航空会社の機内でのPR、ドラマの制作、自転車メーカーとの連携を通じて、海外への情報発信に様々な工夫が凝らされている。

スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)

越後まつだいトレイルランニング実行委員会

里山に点在する古道を蘇らせ新たな地域資源として発信！ 「越後まつだい春の陣トレイルランレース」



取組概要

新潟県十日町市松代で行われたトレイルランニング大会。
今は使われなくなり荒れてしまった古道を再発掘してコース用に整備、里山集落のなかを走れるコースを盛り込んで日本の原風景を体感できる大会制作を実現。
「大地の芸術祭」と連携させることで、「アート×トレイルラン」というユニークな特徴を持つ大会となるほか、地域活性化や里山環境保全、アスリートへの気候変動アクションの提唱が目的となっている。

評価ポイント

- 里山の古道という潜在的な観光資源を上手に活用している。
- 地域を巻き込んだ取組になっており、インバウンド層の取り込みもできている。
- 常設のアートをクローズアップする機会として非常に有効である。

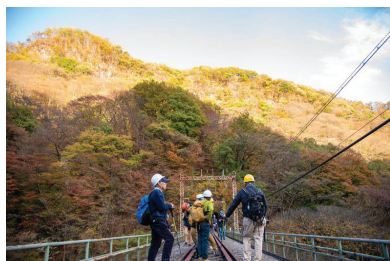
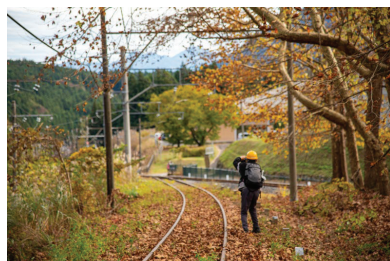
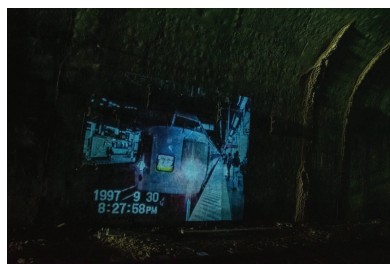
スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

一般社団法人 安中市観光機構



「碓氷峠 廃線ウォーク」 ～行き止まりのレールの先を、次の世代に～



取組概要

2018年から群馬県安中市にある廃線を利用したウォーキングツアー。1997年に最終運行を迎えた信越本線の横川-軽井沢区間(通称、碓氷線)を利用している。普段は立ち入り禁止区間となる場所をガイド付きで約11kmを歩き、歴史的価値と峠越えの困難さを体感できるイベントである。参加者の9割以上が県外からの参加者であり、旅行の目的となるコンテンツとなっている。

評価ポイント

- 廃線となった鉄道を活用している点に特別感があり、そこにしっかりとした歴史的背景やストーリー性がある点を評価。
- 旅行やハイキングが好きな層だけではなく、鉄道や土木建造物が好きな層などターゲットが幅広くなりうる点が新しい。参加者の多数が県外からの利用という点もツーリズム性が高い。
- 日本全国にたくさんあると思われる廃線について、廃線活用のモデルケースとなることにより、他の派生モデルができることが期待される。

スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【武道ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

一般財団法人 奈良市総合財団



外国人観光客向け本格的弓道体験 ～古の都奈良で武士の魂にふれてみよう～



取組概要

外国人観光客が、武の故郷である奈良において、武士道の伝統に由来する本物の弓道を体験できる企画。大会や昇段審査等も行われる本格的な八人立ちの弓道場で道着袴に着替え、高段者による優しく厳しいマンツーマンの指導の下、弓道の基礎、所作を学び、最終的に一人での向かって矢を射る。

「武道」＝「奈良」・「武道」＝「奈良の新しいブランド」というイメージを国際的に周知することで海外からの武道ツーリズムに繋げることを目指している。

評価ポイント

- 歴史や背景がある地域にとって価値が高まる。
- 本物の道場で袴を着けて、本格的な武道を体験できることで、日本人の美しさ、品格をわかってもらえる良い機会。
- 文化的な要素を知ることによって深く奈良を知れる良い機会になる。

スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【武道ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

福島町観光協会

北海道福島町「女だけの相撲大会」 ～日本で唯一2人の横綱が誕生した町～



取組概要

1991年から北海道福島町で行われている「女だけの相撲大会」。川濯神社が創建500年を迎えた際に、奇祭である「女だけの祭礼行列」の奉祝奉賛事業として始まり、毎年5月の第2日曜日(母の日)に行われ、2023年で29回目を開催した。国技として認識されている相撲を女性を対象としたイベントとして実施することにより、その裾野が広がり、それを応援している子供たちにも「女性活躍」や「ジェンダー平等」を考える良い機会となることを目指している。

評価ポイント

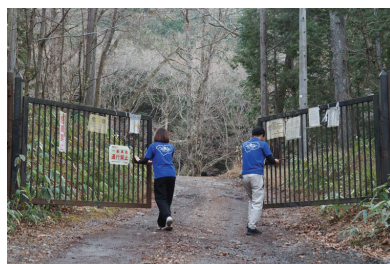
- 海外や地域外の方も参加している取組である。
- 約30年続けて実施されている取組で、地域の相撲文化を作っていると評価できる。
- 女性活躍の視点もありながら、文化的、歴史的な背景があったうえで継続的に取り組みが行われている。

スポーツ文化ツーリズムアワード2023 【日本遺産ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

一般社団法人 下諏訪町地域開発公社 観光振興局

国指定史跡・日本遺産～星降る中部高地の縄文世界～ 「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」の観光資源化



取組概要

長野県下諏訪町にある星ヶ塔黒曜石原産地遺跡は、2015年に国史跡、2018年には日本遺産に認定された。2021年度より、様々なテーマで星ヶ塔遺跡に関する着地型旅行商品として、通常は立入禁止の星ヶ塔遺跡を発見・発掘者の解説付きで特別に見学できるツアーとして実施。また、周辺地域に点在する文化資源や博物館施設と連携し、多角的にアプローチしている。文化財を適切に管理しながら積極的に活用することで、文化・観光・地域活性化の好循環の創出を目指している。

評価ポイント

- 日本遺産を中心に周辺の文化を組み合わせたコンテンツであり、多彩なガイドの存在が付加価値を上げている。
- 地域事業者を巻き込みつつ、参加者がリピーターになる工夫や地域のファンづくりを目指す情報発信をしている。
- 日本遺産そのものの認知拡大に貢献しうる取り組みとなっている。

スポーツ文化ツーリズムアワード2023

【食文化ツーリズム賞】特別賞

(申請団体)

炭鉄港推進協議会事務局



日本遺産を食で巡る旅「炭鉄港めし」プロジェクト



取組概要

明治から戦前、戦中、戦後にわたって日本の成長と復興を支えた、北海道空知の石炭をはじめとする産業革命「炭鉄港」のストーリーが、日本遺産として認定された。本取組は、炭鉱や製鉄所、港湾、鉄道関連施設で働いた人々の生活に根付いた食べ物を「炭鉄港めし」とネーミングし、2021年度には大手コンビニチェーンでの商品化や、観光案内所へのパネル設置を行い、2022年度には、実際に炭鉄港めしが食べられる店舗をまとめたガイドブックの制作及びオンラインスタンプラリーを実施。

評価ポイント

- 日本遺産のストーリーをしっかりと活用した取組で、その地域で味わえる食というところにフォーカスしている
- 大手コンビニチェーンと連携している点に新規性がある面白。
- 地域の数多くの事業者と連携し、100km圏という広域連携を行っている。



「スポーツ文化ツーリズムアワード 2023」について

(1) 概要

スポーツ庁、文化庁、観光庁の三庁は、2016年3月に「スポーツ庁、文化庁及び観光庁の包括的連携協定」を締結し、2016年度から毎年、「スポーツ文化ツーリズムアワード」を実施しています。

スポーツ文化ツーリズムアワードとは、スポーツ文化ツーリズム（注）の推進に寄与する取組やイベントを公募し、選定・表彰を行うものです。第8回となる本年度では、応募のあった29件の取組やイベントの中から、計7件の受賞団体を決定しました。

注：各地域のスポーツイベントと文化芸術資源を結び付けて、新たに生まれる地域ブランドや日本ブランドを確立・発信し、訪日外国人旅行者の増加や、国内観光の活性化を図り、日本及び地域経済の活性化を目指すこと。

【本賞】

- スポーツ文化ツーリズム賞
- スポーツツーリズム賞
- 文化ツーリズム賞

【特別賞】

- 武道ツーリズム賞
- 日本遺産ツーリズム賞
- 食文化ツーリズム賞

(2) スケジュール

2023年8月1日～9月29日	公募期間
11月10日	審査委員会
2024年1月11日	報道発表

(3) 今後について

2024年2月2日（金）に開催予定の「スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」において、「スポーツ文化ツーリズムアワード 2023」表彰式を実施し、受賞団体に対して、三庁長官から表彰を行います。

(4) これまでの受賞団体・取組について

ホームページをご参照ください。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00028.html

第7回

スポーツ文化ツーリズム シンポジウム

同時
開催

4省庁連携セミナー



The 7th sports,culture,tourism symposium 4 ministries cooperation seminar

【日時】2024年2月2日(金)13:00～(【開場】12:00)

【会場】神田明神ホール(東京都千代田区外神田2-16-2 神田明神文化交流館2F)

【定員】●来場をご希望の方/150名 ●オンライン視聴をご希望の方/人数制限はございません

入場料無料、お申込み先着

【参加方法】●来場をご希望の方
<https://sports-culture-tourism2023.peatix.com>



●オンライン視聴をご希望の方
<https://sports-culture-tourism2023-online.peatix.com>



※シンポジウムは、事前登録制となっております。お申込みサイトよりお申込みください。 ※シンポジウムのスケジュール・登壇者は変更となる場合がございます。

第1部

主催 スポーツ庁 文部科学省 観光庁
JAPAN SPORTS AGENCY Agency for Cultural Affairs, Government of Japan Japan Tourism Agency

表彰式・トークセッション

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」表彰式を開催します。
3庁の長官が一堂に会し、トークセッションも行います。

「スポーツ文化ツーリズムアワード2023」は、各地のスポーツや文化芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図る、優れた取組を表彰します。

【モデレーター】原田 宗彦氏



スポーツ庁長官 室伏 広治



文化庁長官 都倉 俊一



観光庁長官 高橋 一郎

基調講演

「スポーツ文化ツーリズム
の最前線」



【講演者】原田 宗彦氏

大阪体育大学 学長 / (一社)日本スポーツ
ツーリズム推進機構代表理事

第2部

主催 環境省 スポーツ庁 文部科学省 観光庁
Ministry of the Environment JAPAN SPORTS AGENCY Agency for Cultural Affairs, Government of Japan Japan Tourism Agency

4省庁連携セミナー

【パネルディスカッション】
地域活性化・まちづくり
に寄与する高付加価値
ツーリズムとは

【モデレーター】山下 真輝氏
株式会社JTB総合研究所主席研究員



【パネリスト】



江崎 貴久氏
有限会社オズ
代表取締役



多田 竜三氏
ひなたMIYAZAKI武道
ツーリズム推進協議会
会長



立花 千月香氏
柳川藩主立花邸 御花
代表取締役社長



アレキサンダー・
ジョエル・
ブラッドショー 氏
合同会社GOTOKU
代表社員

第1部 スポーツ文化ツーリズムシンポジウム

13:00	オープニング 主催者代表挨拶	室伏 広治 スポーツ庁長官
13:10	【基調講演】 「スポーツ文化ツーリズムの最前線」	原田 宗彦氏 大阪体育大学 学長／一般社団法人 日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事
13:40	スポーツ庁、文化庁、観光庁の3長官によるトークセッション	室伏 広治 スポーツ庁長官 都倉 俊一 文化庁長官 高橋 一郎 観光庁長官 ※【モデレーター】原田 宗彦氏
14:15	スポーツ文化ツーリズムアワード2022 受賞団体動画放映	
14:30	スポーツ文化ツーリズムアワード2023 表彰式	※プレゼンター 室伏 広治 スポーツ庁長官 都倉 俊一 文化庁長官 高橋 一郎 観光庁長官 2023年度各賞受賞団体代表者
15:10	スポーツ文化ツーリズムアワード2023 受賞団体動画放映	

第2部 4省庁連携セミナー

15:20	オープニング 開会・概要説明	山下 真輝氏（株式会社JTB総合研究所 主席研究員）
15:25	パネリスト紹介	【モデレーター】 山下 真輝氏（株式会社JTB総合研究所 主席研究員）
15:45	パネルディスカッション	【パネリスト】 江崎 貴久氏 有限会社オズ 代表取締役 多田 竜三氏 ひなたMIYAZAKI武道ツーリズム推進協議会 会長 立花 千月香氏 柳川藩主立花邸 御花 代表取締役社長 アレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー氏 合同会社GOTOKU 代表社員
16:45	まとめ・閉会	山下 真輝氏（株式会社JTB総合研究所 主席研究員）

第1部 スポーツ文化ツーリズムアワード2023受賞取組発表

2016年度から始まった「スポーツ文化ツーリズムアワード」。2023年度は、全国の応募の中から「スポーツ文化ツーリズム賞」「スポーツツーリズム賞」「文化ツーリズム賞」「武道ツーリズム賞」「日本遺産ツーリズム賞」「食文化ツーリズム賞」に選定された計7団体を表彰いたします。

【スポーツ文化ツーリズム賞】

日本最強の城「今治城」を中心にした
スポーツ文化ツーリズム
～瀬戸内の中央を制した歴史が現代に繋がる～
愛媛県今治市

【スポーツツーリズム賞】

里山に点在する古道を蘇らせ
新たな地域資源として発信！
「越後まつだい春の陣トレイルランレース」
越後まつだいトレイルランニング実行委員会

【文化ツーリズム賞】

「碓氷峠 廃線ウォーク」
～行き止まりのレールの先を、次の世代に～
一般社団法人 安中市観光機構

【武道ツーリズム賞】

外国人観光客向け
本格的弓道体験
～古の都奈良で武士の魂にふれてみよう～
一般財団法人 奈良市総合財団

【武道ツーリズム賞】

北海道福島町
「女だけの相撲大会」
～日本で唯一2人の横綱が誕生した町～
福島町観光協会

【日本遺産ツーリズム賞】

国指定史跡・日本遺産
～星降る中部高地の縄文世界～
「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」の
観光資源化
一般社団法人 下諏訪町地域開発公社 観光振興局

【食文化ツーリズム賞】

日本遺産を食で巡る旅
「炭鉄港めし」プロジェクト
炭鉄港推進協議会事務局

第2部 パネリスト プロフィール

江崎 貴久氏

有限会社オズ 代表取締役

1997年、家業である旅館海月の経営を行う有限会社菊乃を設立。2001年、有限会社オズを設立し、離島をフィールドに自然や生活文化を通して環境と観光、教育と環境を一体化させたエコツア「海島遊民くらぶ」を展開。現在、環境省中央環境審議会臨時委員、伊勢志摩国立公園や鳥羽市のエコツーリズム推進協議会会長等を務め、各地のリーダー・人材育成や、地域の活性化に取り組んでいる。

立花 千月香氏

柳川藩主立花邸 御花 代表取締役社長

福岡県柳川市出身。旧柳川藩を治めていた立花宗茂の末裔（第18代）。大学卒業後、東京の商社に3年間勤務。その後、アメリカへ留学しホテル経営を学び、株式会社御花へ入社。2015年に代表取締役社長に就任し、400年の大名文化を受け継ぐ国指定名勝「柳川藩主立花邸 御花」にて料亭旅館を運営している。受け継いできた文化財のさらなる魅力を引き出すため、「文化財を遊び倒す」をテーマに様々な活用を企画・実施している。また、まちづくりにも積極的に関わっており、新しいイベント「やながわ水辺の夜市」を企画するなど、活動は多岐にわたる。

多田 竜三氏

ひなたMIYAZAKI武道ツーリズム推進協議会 会長

宮崎県出身、剣道七段（47歳）。剣道具製造工場の家に生まれ、大学卒業後フランスを拠点に剣道普及活動を行う。1999年より剣道具輸出業を始め、2007年に株式会社日本武道宮崎を設立。その後、家業の技術を生かし革新的な剣道具「サード」を開発。武道ツーリズムを通じて、剣道発祥の聖地宮崎県を世界に発信。現在は、アフリカ事業の原動力に武道を活用することに注力。

アレキサンダー・ジョエル・ブラッドショー 氏

合同会社GOTOKU 代表社員

イギリス・シェフィールド出身。リーズ大学歴史学専攻。卒業後、システムエンジニアとして大手IT企業に入社。2005年来日。株式会社島津興業に入社し、海外営業部長を務めながら、鹿児島県の知名度向上に貢献する。2019年に設立したコンサルティング会社・合同会社GOTOKUに専念するために、2022年9月に島津興業を退社。現在、内閣府クールジャパンプロデューサー、鹿児島県海外広報官を兼任しながら、観光庁事業の選定委員、ならびに有識者も務める。日本全国で消えかけている伝統文化を守るため、文化観光の発展にも力を入れており、観光開発、アドバイザー以外にも積極的に講演活動も行っている。